

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」第63号 2020年2月16日発行

+++++

植物と人々の博物館案内リーフレットを更新しましたので、pdfで添付します。

将来計画については自然文化誌研究会総会で承認していただきました(下記)。

○報告

1. 雑穀街道普及会:

1月27日、上野原市の富澤さん農業委員、吉野さん協力隊員が、植物と人々の博物館を訪問してくださいました。

2月3日、三重県の坂番さんが丹波山村の岡部さんを訪問するのに合わせて、丹波山村を訪ね、意見交換しました。

玉木さんに吉野さんを紹介、玉木さんは中曽根さんらとキビ在来品種(私たちの収集品)を沖縄石垣島に戻しているそうです。

人々がつながってよかったです。

2. 自然文化誌研究会総会

2月15日、13時から15時、藤野中央公民館で開催しました。植物人々の博物館の現況と将来については下記の通り、承認を受けましたので、掲載しておきます。

* 植物と人々の博物館の現況と課題(運営委員会・理事会・総会報告) *

1. 自然文化誌研究会における位置づけ

1) エコミュージアム日本村づくりのプロジェクトにおけるコアミュージアムとしての機能をもつ。

研究会の活動資料、調査研究資料、収集品、およびこれらの展示、収蔵、普及啓発活動を行う。

2) 小菅村と東京学芸大学の社会連携協定によるプロジェクトである。

2. 植物と人々の博物館の主要活動

1) 環境学習、民族植物学に関する調査研究による収集資料、標本の整理、収蔵、展示(博物館)

2) 山村の伝統知の継承・普及、雑穀栽培見本園の管理、FAO 世界農業遺産への申請推進(雑穀街道普及会)

3) 農林業・山村振興、環境教育、植物学、人類学関連の図書の整理(森とむらの図書室、藤野分室)

- 4) メールマガジンやホームページによる普及啓発、調査研究の公表(民族植物学ノートほか)
- 5) セミナー、講習会・講座などによる普及啓発(日本村塾)〈現在は休止〉
- 6) ミューゼス研究会(トランジション小菅)の開催〈現在は休止〉

3. 博物館の組織 非営利活動

* 名誉館長・友の会会長・副会長の廃止、伝承顧問の縮小、研究員の縮小、事務局長と連携室長をまとめる。

1) 館長: 木下善晴

2) 研究員

◆ 専従研究員; 木俣美樹男

◆ 研究員; 西村俊、川上香、藤盛礼恵、井上典昭、岩淵裕子、大澤由美、塚原東吾、和田綾子、ほか。

◆ 顧問研究員; 安孫子昭二

◆ 伝統知伝承顧問; 岡部良雄、中川智、守屋秋子ほか

◆ 事務局; 黒澤友彦

2) 友の会会員(自然文化誌研究会員に含む)。

* 友の会関係と推測される方は 20 名あまり(2019 年会費納入者)。

4. 活動経費

この活動は原則として任意・非営利であるので、専従研究員の寄付により活動経費をまかなう。

必要があれば、研究助成やその他の寄付を受けることにしても良い。

専従研究員の活動によって講師謝金・原稿料などを得た場合は本会に全額寄付する。

* 今回見直しすべきこと *

1. 活動内容や研究員などの再確認と今後の活動

ホームページに掲載されている方々の事情は大幅に変わっている。改めて確認し、現実的な組織にする必要がある。

2. 普及活動を縮小して、資料整理作業に重点を移す。

3. 将来、専従研究員または維持継承者がいなくなった場合の措置。

書籍・収蔵品を売り払い、その経費で残った物品を廃棄処理し、閉館する。

○予定

1. 植物と人々の博物館

1)開館・作業予定日:2019年2月21日、28日、3月6日ほかの予定(原則金曜日)です。

2)極小展示:ヨーロッパの観光旅行で集めた小物工芸品など。

3)栽培保存種子: 雑穀類アワ、キビ、ヒエ、モロコシ、ハトムギ、オオムギ(六条、モチ在来)、コムギ、半白キュウリ、
香辛料ディルなどの種子が欲しい方にはお送りします。ぜひ楽しく栽培して増やしてください。

4)FAO 世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道普及会』の資料を充実しています。

5)民族植物学ノオトは次の第13号からは電子出版のみにし、原稿は2020年2月末までの受付にします。いつでもご寄稿を歓迎します。

◆インドの農業書、古典等に見られる穀物、◆まねごと山村農6年記、ほかを準備しています。

これまでのすべての記事 pdf は植物と人々の博物館ホームページ(ミュージアムグッズ)で読めます。

国会図書館にも全号所蔵されています。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。

メールマガジンもすべて記録してあります。会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

自然文化誌研究会と植物と人々の博物館のホームページを国会図書館 e デポに自動収録の登録申請(許諾)をしました。

デジタルデータは漸次更新収録され、国会図書館において公開閲覧できるようで、自然文化誌研究会の活動記録を公的機関に残すことができます。

6)電子書籍:今のところ出版の意思はないので、確定稿については、「植物と人々の博物館」ホームページのミュージアム・グッズに電子書籍の項を作って国会図書館のデジタル e デポに自動収集してもらうようにしています。

なお、次の電子書籍は順次必要に応じて改訂していきます。まだ、数年は書き続けるので、確定稿に至ったら、同上の通り、順次、「植物と人々の博物館」ホームページに移行します。当面は下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで一部を読めます。

このホームページも大幅に書き換えて更新する予定です。

『雪虫』降矢静夫俳句集～甲武境の村・西原に生きて(1998):ミュージアム・グッズに pdf 掲載の句集は降矢静夫師(俳号光岑)によるもので、増補改訂版を作成するように編集作業中です(安孫子さん宛の 500 通)。電子書籍にする予定です。また、降矢さんの人生哲学を深く学ぶために書簡および対談テープ(木俣宛約 300 通、20 本余)もすべて文字化する作業をしており、『山村農人の教養』としてまとめます。

『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』、『日本雑穀のむら』は一部公開、改訂しています。

『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”は非公開で書き進めています。

7) 森とむらの図書室

インド関係の書籍他を整理しています。

寄贈冊子:お米の勉強会会報、クリンネス、現代農業、うかたま、季刊地域、グリーンもあ、グリーン・ウォッチなどをありがたく頂いています。「コミュニケーションレター コム」(2019.12、No.181)は雑穀街道の特集をしてくださいました。

会員雑誌:雑穀研究、南アジア研究、環境文明 21 会報。

2. 雑穀街道普及会:

相模原市緑区の賛同を得ました。2023 年は国際雑穀年になりますので、賛同者を広く募っています。FAO 世界農業遺産申請に向けて賛同が広がるようどうぞご援助くださいますようお願いいたします。

FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。

また、普及作業を一緒にして下さるとありがたいです。

* 下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。ご確認の上で、賛同の意思表示をお寄せいただければうれしいです。

<http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第 3 章関東地方・第 4 章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果(1974～2017)をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletsworld/milletsn/jnmpilvil.html>

3. 家族農業と環境学習を課題に研究助成を申請する予定です。

○ お知らせ 関心のある団体から

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン

1)日時:1月21日(火) 場所:衆議院第2議員会館

内容:新食料・農業・農村基本計画への家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンとしての提案(家族農業の10年を実施する国内行動計画の素案)をまとめるためのワークショップ。30名ほどの参加で話し合いをしました。

2)日時:1月31日(金) 場所:参議院議員会館講堂

内容:新食料・農業・農村基本計画への家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンとしての提案(家族農業の10年を実施する国内行動計画の柱)に参加しましたが、記者や国会議員は少数、参加者はのべ60名ほど、重要事項にもかかわらず、まだあまり関心を持たれていないようです。ご関心の方は是非ご入会ください。連絡先は下記です。

E-mail: info@ffpj.org URL: <https://www.ffpj.org>

Facebook: <https://www.facebook.com/ffpj2019/> Twitter: @FFPJ2019

個人会員として賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

~~~~~

自然文化誌研究会(東京都日野市):代表 中込卓男、副代表 中込貴芳(東京)、小川泰彦(埼玉)

ミュージーズ研究会/トランジション小菅(山梨県小菅村):代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館(山梨県小菅村):館長 木下善晴

日本村塾生・研究員:木俣美樹男(東京)、西村俊(石川)、藤盛礼恵(千葉)、川上香(長野)ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長:黒澤友彦(山梨県小菅村) [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP:自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行:木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP:生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

~~~~~